

WUSV UNIVERSAL 世界選手権

2025年7月4日～6日（ドイツ・ハーナウ）

服従審査レポート

報告者：益田晴夫

まずはじめに、このたび審査員として本大会に参加するにあたり、

審査委員長：

Mr. Strazzeri、Mr. Vonarburg、Mr. Rook

審査員および副審査員：

Ms. Bohnstedt、Mr. Robbie de Jong、Mr. Feldmann、Mr. Haleby、Mr. Bender、Mr. Beggiato（展覧会）

の皆さまから賜った貴重なご支援とフィードバックに、あらためて心より御礼申し上げます。

評価の報告

オス：

V=1 SG=4 G=14 B=1 M=0 (計 20)

メス：

V=0 SG=6 G=11 B=6 M=1 (計 24)

IGP-2025：新ルールに関する所見

1. 犬が往路で 1m 障害に強く接触し、障害を倒した場合の評価：

このケースは、偶然にもダミー犬の実演中に発生しました。

日本には「百聞は一見にしかず」ということわざがあります。どうぞ別紙の解説図をご参照ください。

2. ハンドラーの命令なしに障害を飛越した場合の減点：

2頭の犬がこの失敗を示しました。ハンドラーの命令がない状態で勝手に障害を飛越しました（この時点では、ヘルパーはまだ審査員の指示を受けておらず、ダンベルの位置に向かっていませんでした）。

評価：-5点

根拠：

審査員が合図を出す前に、犬が所定位置を離れた場合、この課題の15点満点の評価はM10(-5点)となる。その他にも失敗がある場合、その失敗減点は別途加算される。

注：斜壁課題の場合は、10点満点の評価はM6.5(-3.5)となる。

その他の違う場面で、犬が勝手に発進した場合の

減点はそれぞれ異なりますので注意が必要です。
詳しくは以下の解説を参照してください。

https://www.wusv.jp/von_Daniele_Strazzeri_ja.pdf

3. 斜壁の 2m×4m エリアマーキングの起点 :

2m×4m エリアマーキングの起点は、斜壁の中心部から行います（図面参照）。

4. 前進と伏せの評価基準 :

2 回目の命令で犬が直ちに伏せた場合、最初の命令で犬が止まっていたかあるいは止まっていなかったかによって評価は異なります :

- 最初の命令で停止したが伏せなかった。2 回目の命令で伏せた : -1.5 点
- 最初の命令で停止しなかった。2 回目の命令でようやく停止して伏せた : -2.5 点

5. 課題と課題の移動中における犬の問題行動 :

課題と課題の移動中に犬が誤った行動を示した場合、それに対する減点評価は前後の課題からではなく、すべての課題終了後、最終評価（点数）から減点される。

最後に：

私の審査活動につきまして、皆さまの視点から改善のご提案や建設的なご意見を頂けますと幸いです。どうぞご遠慮なくお聞かせください。

なお、ドイツ語ネイティブの皆さまには、私のドイツ語のたび重なるミスが耳についたかと思いますが、そこはどうか笑って見逃していただければ幸いです。

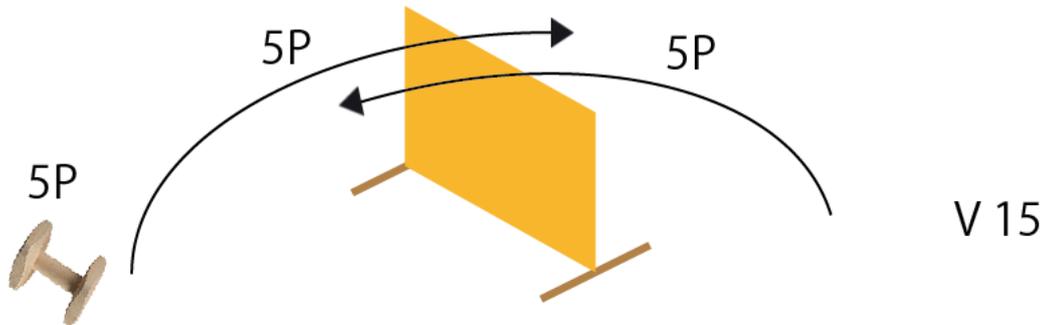
2025年7月8日 フランクフルトにて

益田晴夫

1m-Hürde + Apportierholz: 15 Punkte

Hin-Sprung: 5P, Rücksprung: 5P, Apportieren: 5P

往路ジャンプ: 5点 復路ジャンプ: 5点 ダンベル: 5点



Die Hürde fiel um, als der Hund sie berührte

往路ジャンプで犬が障害に強く接触して倒れた場合の評価

